

神奈川県立麻溝台高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 麻溝台高等学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和7年6月12日(木)15時～16時
開催場所	麻溝台高等学校 応接室
出席者	北里大学教授(学識経験者)、神奈川工科大学教授(学識経験者)、相模原市立双葉小学校校長、麻溝台高等学校長副校長、教頭、事務長、各グループ総括教諭
会議資料	資料冊子(スクールポリシー・グランドデザイン・学校教育計画(令和6～9年度)・令和6年度学校評価実施結果 令和7年度学校評価目標・不祥事ゼロプログラム(令和7～9年度)・令和6年度卒業生の進路状況及び令和7年度 進路イベント・令和6～7年度の部活動実績・令和7年度の行事予定・居住地域別生徒在籍状況・過去3年間の入試倍率)
議事録	<p>開会 協議会成立要件の確認</p> <p>1 委員委嘱 2 本校職員自己紹介・委員紹介 3 校長挨拶</p> <p>4 学校経営に関する基本方針の説明 (1)スクールポリシー・グランドデザイン (2)学校教育計画(令和6～9年度) (3)令和6年度学校評価 実施計画 (4)令和7年度学校評価 目標 (5)不祥事ゼロプログラム(令和7～9年度)</p> <p>5 学校・生徒の状況等についての説明 (1)令和6年度卒業生の進路状況・令和7年度進路イベント (2)令和6～7年度の部活動実績 (3)今年度の行事予定 (4)居住地域別生徒在籍状況・過去3年間の入試倍率</p> <p>6 情報交換・意見聴取 ○不祥事ゼロプログラムの中の検証について、どのように行っているのか。 (回答)不祥事防止は全職員で取り組んでいるため、検証は、職員会議等でその取組の成果を確認し、職員からの意見をもらうとて、何か問題等がある場合については、改めて措置を講じるようにしている。 ○この学校の一番の重点課題は何か。 (回答)安全で安心な学習できる環境が必要だと思っている。昨年度、生徒指導グループが「誰もができる生徒指導」を掲げ、取り組んでいる。また、生徒の居場所がある安心感のある学校、例えば、SNS等による人間関係のトラブルがないよう、気づいたことがきちんとと言えるようにしようということにも取り組んでいる。これらのことを踏まえて、安全に学べる環境を整えることが大切だと思う。 ○自転車乗車時のヘルメットの努力義務についてどのように取り組んでいるか。 (回答)一昨年、交通安全大会でアンケートをとったときは、ヘルメットを持っている生徒が2%で、かぶっている生徒は皆無だった。例年に比べると今年は増えてきている。今後は、生徒会の生徒たちと連携して、ヘルメット着用について共に考え取り組んでいきたい。 ○部活動の指導について、働き方改革を考えたときの現状はどのようになっているのか。 (回答)生徒がいる限り部活動は使命だと思って取り組んでいる。大会があれば、夏休みでも練習をしなければならない環境にある。ただ、やらされている感はない。学校現場よりも、大会の運営側に改善を求めたい。 様々な働き方がある中で、可能な範囲で分担しながら部活動の指導をするように心がけている。朝練や土日の部活動についても無理のない範囲で行うよう発信している。また、教育委員会で定められた日数を超えない範囲で部活動を行うよう取り組んでいる。○体育祭の映像を見て、行事等でも生徒は髪の毛を染めていなかった。どのような指導をしているのか。 (回答)生徒たち自身が、髪を染めて何かを表現することに意味を感じていないように思う。みんなで考えて作製した衣装やそれを着てみんなで踊る一体感に満足しているため髪を金髪に染めたり化粧をする必要性を感じていないように思う。 3年生への憧れや伝統があって、そのような環境だからこそ本校に入学したのではないかとと思う。 ○体育祭の映像を見て、行事等でも生徒は髪の毛を染めていなかった。どのような指導をしているのか。 (回答)生徒たち自身が、髪を染めて何かを表現することに意味を感じていないように思う。みんなで考えて作製した衣装やそれを着てみんなで踊る一体感に満足しているため髪を金髪に染めたり化粧をする必要性を感じていないように思う。 3年生への憧れや伝統があって、そのような環境だからこそ本校に入学したのではないかとと思う。 ○生徒が主張したり、職員とぶつかりあったりすることが少なくなっているように感じるが、どうか。 (回答)本校の生徒は、授業等とても静かにまじめに受けている。教員から指示されたことについて、しっかりと成し遂げる力も持っている。生徒総会で一部の生徒から生活指導についての要望があげられた際に、生徒会の生徒がその件について安易に受け入れるのではなく、その案件を取り上げるか否かのアンケートを全生徒にとり、冷静に対応している場面があった。ぶつかりあうというよりは、生徒自らが学校側に要望するか否かを判断する力を持っているように感じる。</p> <p>7 諸連絡 ○第2回学校運営協議会 9/6(土)、9/7(日)の文化祭参観</p>